

	国立療養所愛媛病院	384	愛媛大学医学部附属病院	385
高知	近森病院	386	高知県立中央病院	387
	幡多けんみん病院	388	国立高知病院	389
	高知医科大学医学部附属病院	390		
福岡	福岡和白病院	391	千鳥橋病院	392
	宗像水光会総合病院	393	福岡大学病院	394
	福岡市立こども病院感染症センター	395	福岡赤十字病院	396
	福岡徳州会病院	397	久留米大学病院	398
	新古賀病院	399	高木病院	400
	北九州市立八幡病院	401	九州厚生年金病院	402
	産業医科大学病院	403	新行橋病院	404
	九州労災病院	405	三枝野病院	406
	社会保険小倉記念病院	407	北九州市立医療センター	408
	小文字病院	409	健和会大手町病院	410
	国立小倉病院	411	九州大学医学部附属病院	412
	佐賀	佐賀県立病院好生館	413	唐津赤十字病院
佐賀医科大学医学部附属病院		415		
長崎	光晴会病院	416	白十字会佐世保中央病院	417
	長崎大学医学部附属病院	418	国立病院長崎医療センター	419
	長崎市立市民病院	420	大村市立病院	421
	佐世保市立総合病院	422		
熊本	国立熊本病院	423	熊本大学医学部附属病院	424
	熊本赤十字病院	425	熊本市立熊本市民病院	426
	熊本中央病院	427	済生会熊本病院	428
大分	大分市医師会立アルメイダ病院	429	大分医科大学医学部附属病院	430
	大分県立病院	431		
宮崎	県立宮崎病院	432	宮崎市郡医師会病院	433
	潤和会記念病院	434	宮崎県立延岡病院	435
	誠和会和田病院	436	宮崎医科大学医学部附属病院	437
鹿児島	鹿児島市立病院	438	厚地脳神経外科病院	439
	鹿児島市医師会病院	440	出水郡医師会立阿久根市民病院	441
	鹿児島大学医学部附属病院	442	名瀬徳州会病院	443
沖縄	琉球大学医学部附属病院	444	県立中部病院	445
	沖縄県立那覇病院	446	中部徳州会病院	447
	浦添総合病院	448	沖縄協同病院	449

第3章 調査の実施

1. 調査対象者及び実施期間

調査対象者：調査対象病院において特定集中治療室管理料を算定する患者全員です。

調査期間：平成14年12月のうち連続する3週間とします。

調査日の設定は調査対象病院内において協議の上、決定してください。

調査中の問合せ：様式2「問合せ用FAX送信票」を使ってお問合せください。

2. 調査の種類と調査用紙、調査データの概要

No.	調査の種類	調査方法、期間	返送
1	病院の概況調査	調査票記入とデータ入力	フロッピーディスク
2	特定集中治療室入室基準に関するアンケート調査	調査票記入	調査票
3	患者の状態調査	データ入力（毎日）	フロッピーディスク
4	APACHE II 調査	データ入力（毎日）	フロッピーディスク
5	職員配置調査	調査票記入とデータ入力（毎日）	調査票とフロッピーディスク

1) 病院の概況調査

①調査実施者

原則として調査責任者が記入をしてください。

②調査の方法

まず、様式3「病院の概況調査票」に記入して、システムに入力してください。様式3「病院の概況調査票」は、返送の必要はありませんが、システム入力後は、各病院において保管をお願いします。

操作手順は、操作マニュアル26～28頁をご参照ください。

2) 特定集中治療室入室基準に関するアンケート調査

①調査実施者

原則として調査責任者が記入をしてください。

1病院に1票をご記入ください。

②調査の方法

様式8「特定集中治療室入室基準に関するアンケート調査票」に、必要事項をご記入ください。

3) 患者の状態調査

①調査対象者

調査対象病院において特定集中治療室管理料を算定する患者全員

②調査の方法

調査票はありません。システムに直接入力してください。

調査項目は要綱22頁、操作マニュアル67頁を参照ください。

操作手順は操作マニュアル44～46頁をご参照ください。

システムに入力する前に、用紙に記入する必要がある場合には、お手数ですがコピーをしてお使いください。

③調査に関する留意点

調査項目の説明は操作マニュアル46～55頁をご参照ください。

4) 患者のAPACHE II 調査

①調査対象者

調査対象病院において特定集中治療室管理料を算定する患者全員

ただし、16歳未満、熱傷の患者は除く。

②調査の方法

調査票はありません。システムに直接入力してください。

調査項目は要綱 23 頁、操作マニュアル 68 頁を参照ください。操作手順は操作マニュアル 56 頁をご参照ください。

システムに入力する前に、用紙に記入する必要がある場合には、お手数ですがコピーをしてお使いください。

③調査に関する留意点

システム入力の際、最低値（最高値）を下回る（上回る）場合には、エラーメッセージが表示されます。実測値を確認し、エラーが生じる値である場合には、最低値（最高値）を入力してください。

なお、算定される APACHE II スコアには支障ありません。

例) 血清クレアチニンの実測値が 0.3 の場合

→システムの最小値が 0.5 と設定されているため 0.5 と入力

スコアはいずれの場合も「2」となります。

調査項目の説明は操作マニュアル 57～61 頁をご参照ください。

5) 職員配置調査・・・調査期間中、毎日の勤務状況について調査します。

まず、各病棟の看護師の勤務体制（日勤、夜勤、準夜、遅出、深夜など）に応じた勤務時間帯をシステム上で設定します。（操作マニュアル 26 頁を参照ください）

その勤務時間帯で勤務した実人数を様式 6 「配置管理票」に記入の上、システムに入力をしてください。

特定集中治療室担当看護師以外の看護師は「その他」に含まれます。

医師、臨床工学士、その他の職種については、1 日の実人数を入力してください。

操作手順は操作マニュアル 39 頁をご参照ください。

3. システム入力に関する留意事項

■診断名マスタの追加・修正

調査準備時点で診断名のマスタを作成していただきますが、調査実施中は新規入院、診断結果などを考慮のうえ、随時必要な診断名をマスタに追加、修正を行ってください。

診断名の追加・修正は操作マニュアル 29～32 頁をご参照ください。

■1 日の入力が終わったら

1 日の入力が終わったら「管理」の「一時保存」画面にて一時保存処理を行い、調査を行った日までのデータのバックアップをしてください。（※データのバックアップが無い場合は、トラブルが発生した場合、データが復旧できなくなる場合があります。）

■トラブルが発生したら

トラブルが発生しデータを以前保存したデータに復旧したい場合は、操作マニュアル 34 頁の手順に従い保存復旧画面にて復旧作業を行ってください。

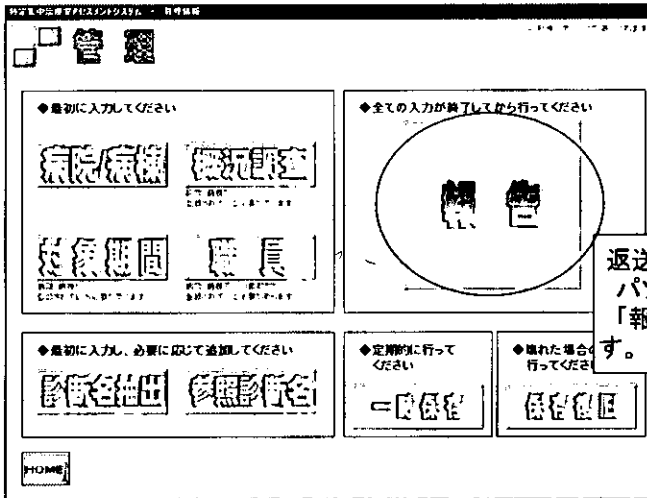
■調査期間が終了したら

調査期間内で全てのデータが入力できたら、報告データを返送用のフロッピーディスクに保存してください。操作マニュアル 35 頁と次頁の説明をご参照ください。

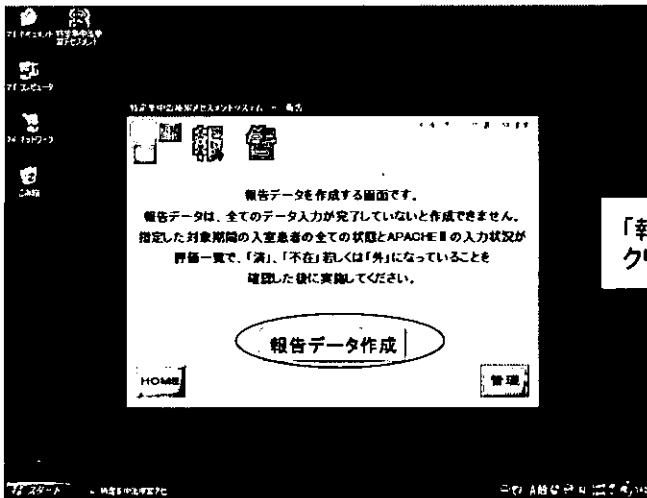
返送していただくデータに関しては、個人名等、個人を特定できるデータは ID 化し、個人識別情報を含んだファイルは各病院で保管、個人名等を除いたデータについて保存され・回収するシステムを採用しています。

よって、両ファイルは個人識別コードでのみ対応をとることとなっています。本調査で知り得た被調査者の情報については、すべて数値データとして取り扱い、いかなる個人情報も個人を特定できない統計処理を行うものとします。データを送付する前に患者情報や職員情報に関しては、印刷ボタンで印刷していただき、病院側で保存してください。

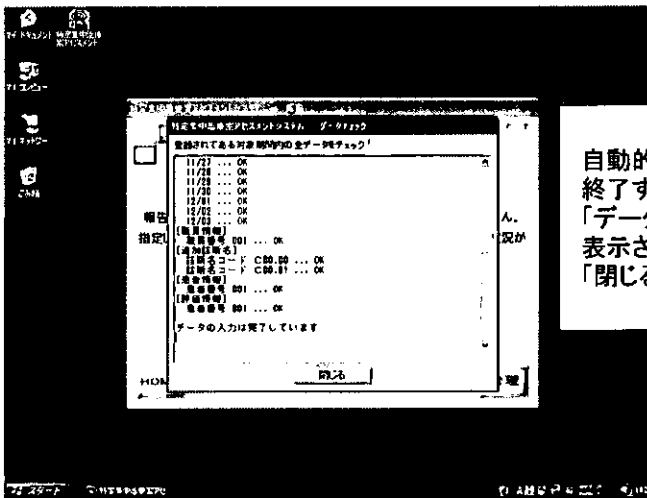
報告データの作成手順



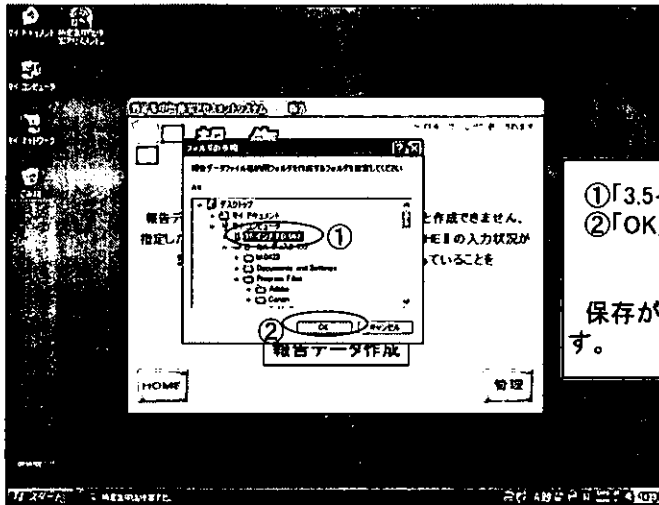
返送用フロッピーディスクをパソコンに挿入し、「報告」ボタンをクリックします。



「報告データ作成」ボタンをクリックします。

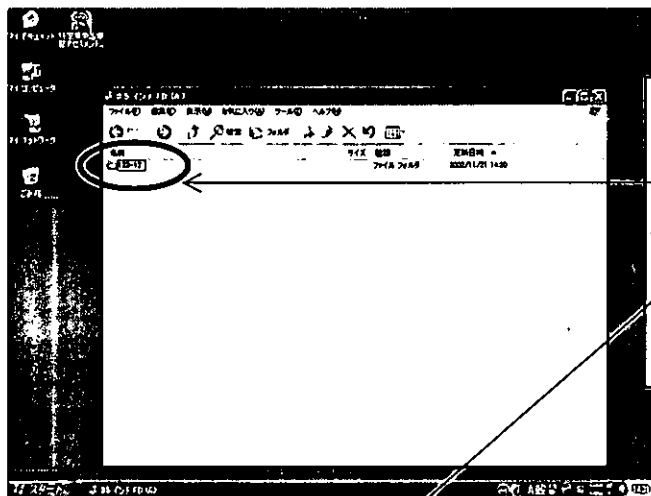


自動的にデータチェックを行い、終了すると「データの入力は完了しています」と表示されます。「閉じる」ボタンをクリックします。



①「3.5インチFD」を選択し、
②「OK」ボタンをクリックします。

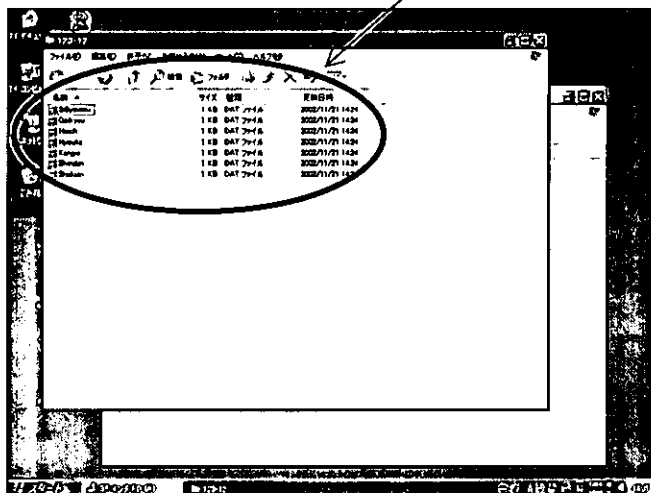
保存が終了すると、管理画面に戻ります。



保存された報告データの確認

フォルダ名は「病院番号-病棟番号」となります。

報告データは、所定のフォルダ内に、7種類のファイルとして保存されます。



第4章 調査データの返送

- 1) 返送する調査データ、調査票などは次のとおりです。
記入もれ、入力もれなどがなければ確認のうえ、返信用封筒を使ってご返送ください。

NO.	返送する調査データ等	確認
1	進捗管理票（様式1）	
2	特定集中治療室入室基準に関するアンケート調査票（様式7）	
3	入力データを保存したフロッピーディスク 含まれているもの ①病院概況調査データ ②職員調査データ ③患者調査データ、 ④患者の状態調査データ ⑤患者の APACHE II データ ⑥職員配置データ	
4	配置管理票（様式6）	

2) 返送先

〒351-0190 埼玉県和光市南 2-3-6
国立保健医療科学院 福祉サービス部 筒井孝子研究室

3) 返送の〆切

平成 15 年 1 月 10 日（消印有効）

第5章 調査票様式

- 様式1 進捗管理票
- 様式2 問合せ用 FAX 送信票
- 様式3 病院の概況調査票
- 様式4 職員調査票
- 様式5 患者調査票
- 様式6 配置管理票
- 様式7 特定集中治療室入室基準に関するアンケート

- 参考①) 患者の状態調査項目一覧
- 参考②) 患者の APACHE II 調査項目一覧

進 捗 管 理 票

日程計画に従い、項目ごとの実施予定日をあらかじめ記入してからご使用ください。

病院番号		病院名	
調査責任者氏名			
No.	作 業 項 目	予 定	実 績
1	調査資料の確認	月 日	月 日
2	調査責任者の選定	月 日	月 日
3	入力システムのインストール	月 日	月 日
4	調査説明会の開催	月 日	月 日
5	調査期間の決定	月 日	月 日
6	職員調査票の作成、システム入力	月 日	月 日
7	患者調査票の作成、システム入力	月 日	月 日
8	入力システムの診断名マスタ作成	月 日	月 日
9	病院の概況調査票の記入、システム入力	月 日	月 日
10	特定集中治療室入室基準に関するアンケート調査の記入	月 日	月 日
11	患者の状態調査	月 日 から 月 日	月 日 から 月 日
12	患者の APACHE II 調査		
13	職員勤務状況調査		
14	返送する調査データ、調査票などの確認	月 日	月 日
15	調査データ、調査票の返送	月 日	月 日

ファックス送付先 国立保健医療科学院 福祉サービス部 筒井孝子研究室
問合せ専用 FAX : 03-5402-3912

発信者名 _____ (必ずお書き下さい)

発信病院・病棟名 _____ 病院 _____ 病棟/看護部 _____

発信者 FAX 番号 _____ (必ずお書き下さい)

発信者 TEL 番号 _____ 内線 (_____)

問合わせ内容

病院の概況調査票

病院番号		病院名	
病棟番号		病棟名	

1. 病院全体について

病床数	床
うち一般病床数	床
平均在院日数（一般病棟） （直近3ヶ月）	日 (西暦 年 月から 年 月)

2. 特定集中治療室について

治療室数	室				
病床数	床				
稼働病床数	床				
平均患者数 （直近1年）	人	(西暦	年 月	から	年 月)
病床利用率 （直近1年）	%	(西暦	年 月	から	年 月)
平均在室日数 （直近3ヶ月）	日	(西暦	年 月	から	年 月)
死亡率（治療室内における死亡） （直近1年）	%	(西暦	年 月	から	年 月)
再入室率（退室後24時間内の再入室） （直近1年）	%	(西暦	年 月	から	年 月)
看護師の勤務時間帯 （該当する勤務帯の欄のみ記入）	日勤	時	分	～	時 分
	夜勤	時	分	～	時 分
	準夜勤	時	分	～	時 分
	深夜勤	時	分	～	時 分
	早出	時	分	～	時 分
	遅出	時	分	～	時 分
	その他勤務帯	時	分	～	時 分
在室日数の分布 （前月退室患者）	1日	人	(西暦 年 月)		
	2日	人			
	3日	人			
	4日	人			
	5日	人			
	6日	人			
	7日	人			
	8日	人			
	9日	人			
	10日	人			
	11日	人			
	12日	人			
	13日	人			
	14日	人			
	14日超	人			

様式4

職員調査票

特定集中治療室に勤務する看護師の情報を記入してください。

職員 番号	職員名	性別	生年月日	年齢	看護経験 年数※	当該特定集中治療室 勤務年数※
1			T・S 年 月 日			
2			T・S 年 月 日			
3			T・S 年 月 日			
4			T・S 年 月 日			
5			T・S 年 月 日			
6			T・S 年 月 日			
7			T・S 年 月 日			
8			T・S 年 月 日			
9			T・S 年 月 日			
10			T・S 年 月 日			
11			T・S 年 月 日			
12			T・S 年 月 日			
13			T・S 年 月 日			
14			T・S 年 月 日			
15			T・S 年 月 日			
16			T・S 年 月 日			
17			T・S 年 月 日			
18			T・S 年 月 日			
19			T・S 年 月 日			
20			T・S 年 月 日			
21			T・S 年 月 日			
22			T・S 年 月 日			
23			T・S 年 月 日			
24			T・S 年 月 日			
25			T・S 年 月 日			
26			T・S 年 月 日			
27			T・S 年 月 日			
28			T・S 年 月 日			
29			T・S 年 月 日			
30			T・S 年 月 日			

看護経験年数と当該特定集中治療室勤務年数は、何年目かで年数を記入してください。

様式 5

患者調査票

調査対象期間内に入室していた全患者の情報を記入若しくは選択（該当項目を○）してください。（用紙が不足する場合は、コピーして記入してください）

番号	患者名	性別	生年月日 (年齢)	入室年月日 退室年月日	入室時 退室時	入室前手術の有無 入室前手術年月日	入室の判断基準			入室事由				
							A	B	C	A	B	C		
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			
		男女	M/T/S/H 年 月 日 () 歳	H 年 月 日	時分	有・無	ア	イ	ウ	エ	オ			
		男女	() 歳	H 年 月 日	時分	H 年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ			

※年齢は、対象期間の調査開始日又は当該患者の入室日の運の方の年齢を記入してください。
 ※入室事由は、次の事態 (1: 外来から、2: 手術室へ、3: 他病棟から、4: 他院から) から番号で記入してください。
 ※退室事由は、次の事態 (1: 他病棟へ、2: 手術室へ、3: 他院へ、4: 自宅へ、5: 死亡) から番号で記入してください。
 ※入室の判断基準は、以下の状況の当てはまるものを全て選択してください。
 ア. 意識障害又は昏睡、イ. 急性呼吸不全又は急性呼吸不全の急性増悪、ウ. 急性心不全 (心筋梗塞を含む) エ. 急性薬物中毒、オ. ショック、カ. 重篤な代謝障害 (肝不全、腎不全、重症糖尿病) キ. 広範囲熱傷、ク. 大手術後、ケ. 救急蘇生後、コ. その他外傷、破傷風等で重篤な状態
 ※入室事由は、Aが「熱傷」、Bが「冠動脈疾患」、Cが「心臓手術」であり、該当すれば○を記入してください。
 ※記載した年齢が、16歳未満又は入室事由が「熱傷」のいずれかの場合は、当該患者のAPACHE IIの入力が不要となります。

配置管理票

様式 6

調査日毎の実配置数を記入してください。

No	調査日	看護師（勤務帯毎に記入※）								医師				臨床工学士 (ME)	その他	
		日勤	夜勤	準夜勤	深夜勤	早出	選出	その他	スタッフ（特定集中治療室担当医師）	研修医	他科よりのローテイト					
1	月 日															
2	月 日															
3	月 日															
4	月 日															
5	月 日															
6	月 日															
7	月 日															
8	月 日															
9	月 日															
10	月 日															
11	月 日															
12	月 日															
13	月 日															
14	月 日															
15	月 日															
16	月 日															
17	月 日															
18	月 日															
19	月 日															
20	月 日															
21	月 日															

※看護師の勤務帯は、概況調査票の勤務時間帯に記載した欄のみ毎日記入してください。

様式7 特定集中治療室（入室基準）に関するアンケート調査

病院名	病院No.	病棟No.
記入日 年 月 日	記入者氏名	

調査対象者が入室している特定集中治療室について、以下の設問にお答えください。

1. 常時運用している特定集中治療室病床は何床ですか？

届出 _____ 床 稼動 _____ 床

2. 病院内に、特定集中治療室管理料を届け出ている治療室以外の重症患者用ベッドは何床ありますか？
(例) HCU 3床、SCU (脳血管系集中治療室) 5床など)

3. 特定の診療科だけが特定集中治療室を利用するようなことはありますか？

1 はい (具体的に _____ 科のみ)
2 いいえ

4. 貴院の特定集中治療室は集中治療専門医研修施設として日本集中治療医学会の認定を得ていますか？

1 はい 2 いいえ

5. 特定集中治療室に専従している医師は何人ですか？

①	当該治療室に専任の医師	_____人
	うち、集中治療専門医（日本集中治療医学会認定）	(_____人)
②	一定期間専従勤務する他科の医師	_____人
③	研修医	_____人

6. 勤務している看護師の勤務表の変更についてお伺いします。

入室患者の病状や看護量の変動にあわせ、日々の配置看護師の数等の調整はいつ、どのように決定されますか？

7. 設置されている機器等についてお伺いします。

以下（1）～（3）は、日本集中治療医学会が設置基準として示している機器ですが、貴治療室において運用可能な機器に○印をつけてください。

(1) 特定集中治療室に「常備すべき」と示されている機器

a. 救急蘇生装置（気管挿管器具、気管切開器具、用手人工呼吸バッグなど）		
b. 人工呼吸器	c. 除細動器	d. ペースメーカー
e. シリンジポンプ		
f. 輸液ポンプ	g. 心電計	h. ポータブルX線撮影装置
i. 生体情報連続モニタ（心電図、圧2チャンネル、パルスオキシメータ）		
j. 体温測定装置	k. 酸素濃度計	
l. 小外科手術器具（静脈切開、胸腔・腹腔穿刺など）		

(2) 特定集中治療室に「あることが望ましい」と示されている機器

a. 気管支鏡（ブロンコファイバースコープ）	b. 血液浄化装置
c. 心拍出量計	d. 混合静脈血酸素飽和度モニタ
e. 脳波計	
f. 体重計	g. 体温調節装置
h. 呼吸機能測定装置（カプノメータを含む）	i. 超音波診断装置
j. 間欠的空気圧迫式マッサージ装置（深部静脈血栓症予防）	k. 無影灯

(3) 「病院内にあることが望ましい」と示されている機器

a. IABP（大動脈内バルーンパンピング）	b. PCPS（経皮的心肺補助装置）
c. CT（コンピュータ断層撮影装置）	

8. 入室される患者についてお伺いします。

- ① 主治医等が特定集中治療室管理が必要と判断した患者についてお伺いします。
誰が、いつ、どのように最終的な入室判断をしますか。

- ② 特定集中治療室管理料の算定対象として挙げられている下記の患者特性に加えて、「患者がこの条件を持っていると特定集中治療室に必ず入室する」という条件を設定されていれば、その条件をご記入ください。

(特定集中治療室管理料の算定対象)		
ア. 意識障害又は昏睡	イ. 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪	
ウ. 急性心不全 (心筋梗塞を含む。)	エ. 急性薬物中毒	オ. ショック
カ. 重篤な代謝障害 (肝不全、腎不全、重症糖尿病等)		キ. 広範囲熱傷
ク. 大手術後	ケ. 救急蘇生後	コ. その他外傷、破傷風等で重篤な状態

(例：呼吸器が必要である。点滴ラインが5本以上必ず必要である。等)

- ③救命救急症例 (三次救急症例) は、特定集中治療室の病床に入室しますか？

1 はい	2 いいえ
------	-------

9. 貴院の特定集中治療室で最も問題となっていることを自由に記載してください。

参考①

患者の状態調査項目

患者番号		患者名	
------	--	-----	--

患者の状態について、該当する番号に○をつけてください。

患者の状態に変動がある場合には、状態の重い方に○をつけてください。

() 内には、当該項目がありの場合、必要な数字をお書きください。

A. 調査日の状況（調査日の0時～24時）

1. 手術の有無	1. なし 2. あり
2. 調査日の主な診断名（最大3種類）	(1)
	(2)
	(3)
3. 床上安静の指示	1. なし 2. あり

B. 処置等（前日の調査時刻～本日の調査時刻）

4. 心電図モニター	1. なし 2. あり
5. 動脈圧測定（動脈ライン）	1. なし 2. あり
6. 中心静脈圧測定（中心静脈ライン）	1. なし 2. あり
7. 肺動脈圧測定（スワンガンカテール）	1. なし 2. あり
8. 人工呼吸器の装着	1. なし 2. あり
9. 人工呼吸器を装着しない気管内挿管、 気管切開	1. なし 2. あり
10. 特殊な治療法（CHDF, IABP, PCPS, 補助人工 心臓, ICP測定）	1. なし 2. あり
11. 輸液ポンプの台数	1. なし 2. あり（台数 台）
12. シリンジポンプの台数	1. なし 2. あり（台数 台）
13. 持続ドレナージの本数	1. なし 2. あり（本数 本）
14. 輸血又は血液製剤の使用	1. なし 2. あり
15. 蘇生術の施行	1. なし 2. あり

C. 患者の状況（調査日の日勤時間帯）

16. 寝返り	1. できる 2. 何かにつかまればできる 3. できない
17. 起き上がり	1. できる 2. できない
18. 座位保持	1. できる 2. 支えがあればできる 3. できない
19. 移乗	1. 介助なし 2. 見守り・一部介助が必要 3. 全介助
20. 口腔清潔介助	1. なし 2. あり
21. 鎮静のできない不穏状態の有無	1. なし 2. あり
22. 移動方法（主要なもの1つ）	1. 自立歩行 2. 杖歩行 3. つたい歩き 4. 歩行器 5. 車椅子による自力走行 6. 車椅子による介助走行 7. その他（搬送車等） 8. 移動なし

参考②

患者番号 ()

APACHE II 調査項目

患者名 ()

[A] 急性の生理学的変化 (12 項目)

測定値	スコア	該当する箇所には○をつけて、スコア欄に点数を記入して下さい。									
		異常高値					異常低値				
		+4	+3	+2	+1	0	+1	+2	+3	+4	
体温 (°C)	() °C	≥41	39-40.9		38.5-38.9	36-38.4	34-35.9	32-33.9	30-31.9	≤29.9	
平均血圧 (mmHg) ※	() mmHg	≥160	130-159	110-129		70-109		50-69		≤49	
心拍数	()	≥180	140-179	110-139		70-109		55-69	40-54	≤39	
呼吸数 (自発、強制を問わず)	()	≥50	35-49		25-34	12-24	10-11	6-9		≤5	
血液酸素化: A-aDO ₂ または PaO ₂ (mmHg)											
a) FiO ₂ ≥ 0.5 にて A-aDO ₂	()	≥500	350-499	200-349		<200					
b) FiO ₂ < 0.5 にて PaO ₂	()					>70	61-70		55-60	<55	
血液ガスを測定したとき: 動脈血 pH	()	≥7.7	7.6-7.69		7.5-7.59	7.33-7.49		7.25-7.32	7.15-7.24	<7.15	
血液ガスを測定しないとき: 静脈血 HCO ₃ (mmol/l)	()	≥52	41-51.9		32-40.9	22-31.9		18-21.9	15-17.9	<15	
血清ナトリウム	()	≥180	160-179	155-159	150-154	130-149		120-129	111-119	≤110	
血清カリウム	()	≥7	6-6.9		5.5-5.9	3.5-5.4	3-3.4	2.5-2.9		<2.5	
血清クレアチニン (mg/dl) (急性腎不全なら 2 倍)	()	≥3.5	2-3.4	1.5-1.9		06-1.4		<0.6			
ヘマトクリット (%)	() %	≥60		50-59.9	46-49.9	30-45.9		20-29.9		<20	
白血球数 (×10 ³ /mm ³)	()	≥40		20-39.9	15-19.9	3-14.9		1-2.9		<1	
グラスゴー・コーマ・スケール (GCS)	()	スコア=15- (3 ≤ 実際の GCS ≤ 15)									
[A] の合計		() 点									

※ 平均血圧 = 最小血圧 + (最大血圧 - 最小血圧) / 3

[B] 年齢点

年齢 () 歳	区分	スコア
スコア () 点	≤44	0
	45~54	2
	55~64	3
	65~74	5
	≥75	6

[C] 慢性疾患の定義

次の条件を満たす重症臓器不全の既往、あるいは免疫抑制状態が、今回の入院に先立って存在する。
 肝：生検で肝硬変と診断、あるいは門脈圧亢進が存在する。門脈圧亢進による上部消化管出血の既往がある。肝不全・肝性昏睡の既往がある。
 心血管系：NYHA IV度
 呼吸器系：慢性の拘束性・閉塞性疾患による、重度の運動制限（階段が上がれない、家事ができないなど）がある。慢性的低酸素血症、高炭酸ガス血症、二次的な赤血球増加症、40mmHg 以上の重症肺高血圧症、レスピレーター依存が存在する。
 腎：慢性透析施行
 免疫不全：感染防御機能を抑制する治療（免疫抑制薬、化学療法、照射療法、長期および大量ステロイド投与）あるいは免疫抑制を助長する疾患（白血病、リンパ腫、AIDS）がある。

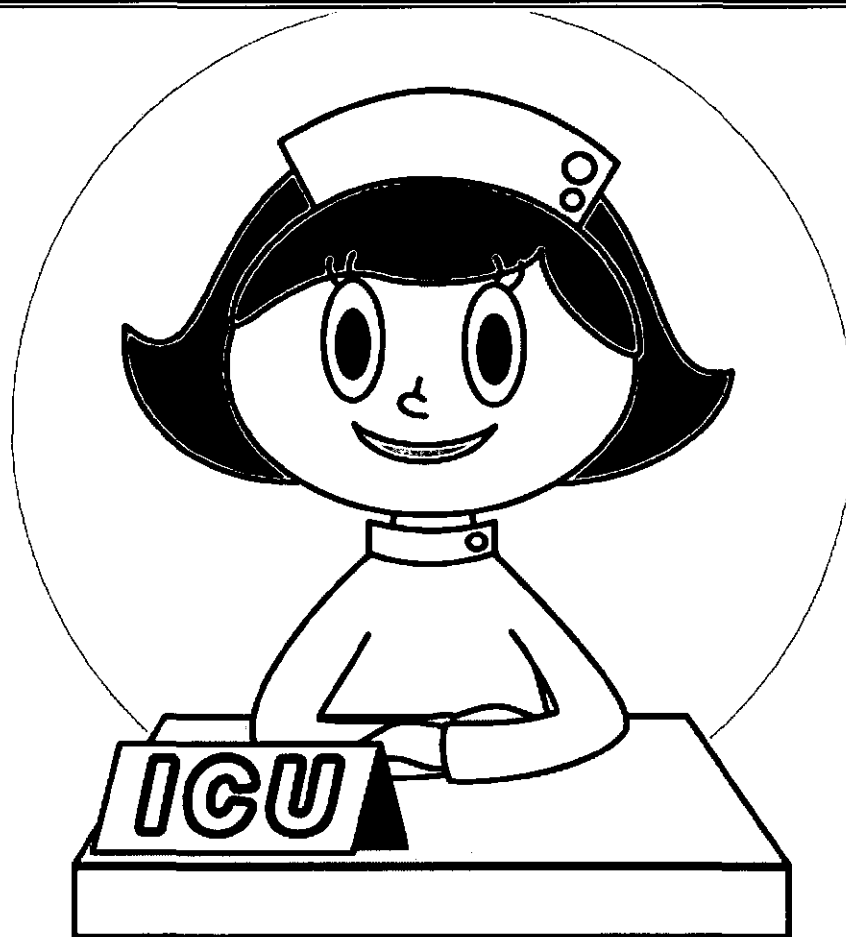
[C] 慢性的合併症

	慢性疾患		スコア
	あり	なし	
非術後	5	0	() 点
緊急手術後	5	0	
定期手術後	2	0	

APACHE II スコア =
 [A] + [B] + [C] = () 点

2. 「特定集中治療室アセスメント入力システム」マニュアル

特定集中治療室アセスメントシステム
導入・操作説明書



2003年11月

国立保健医療科学院 福祉サービス部 筒井 孝子